

生 理 学 (1)

教 授 川 崎 匡
助 教 授 本 間 信 治
助 手 佐 藤 悠
助 手 梅 野 克 身
文 部 技 官 五 十 嵐 勝 美

◆ 原 著

- 1) Sato Y., Kawasaki T. and Ikarashi K. : Zonal organization of the floccular Purkinje cells projecting to the vestibular nucleus in cats. *Brain Res.* **232** : 1-15, 1982.
- 2) Sato Y., Kawasaki T. and Ikarashi K. : Zonal organization of the floccular Purkinje cells projecting to the group y of the vestibular nuclear complex and the lateral cerebellar nucleus in cats. *Brain Res.* **234** : 430-434, 1982.
- 3) Kato I., Harada K., Nakamura T., Sato Y. and Kawasaki T. : Role of the nucleus reticularis tegmenti pontis on visually induced eye movement. *Exp. Neurol.* **78** : 503-514, 1982.
- 4) 川崎 匡, 佐藤 悠, 加藤 功: 背側縫線核への投射について. *平衡神経科学* **41** : 8-13, 1982.
- 5) 加藤 功, 原田浩二, 長谷川智彦, 小池吉郎, 川崎 匡, 佐藤 悠: 視運動眼振に対する橋被蓋網様体核の役割. *平衡神経科学* **41** : 26-30, 1982.

◆ 学 会 報 告

- 1) 佐藤 悠, 川崎 匡: 前庭神経核群・外側小脳核へ投射する小脳片葉プルキンエ細胞の帯状構造. 第5回神経科学学術集会, 1982, 1, 横浜.
- 2) 本間信治, 関谷伸一: ヤツメウナギ背髄巨大介在ニューロンの微細構造. 第5回神経科学学術集会, 1982, 1, 横浜.
- 3) 本間信治, 関谷伸一: ヤツメウナギ背髄巨大介在細胞におけるシナプス前要素の分布. 第59回日本生理学会大会, 1982, 4, 横浜.
- 4) 梅野克身, 川崎 匡: 速筋の複数神経支配におけるシュワン細胞の役割. 第59回日本生理学会大会, 1982, 4, 横浜.
- 5) 川崎 匡, 佐藤 悠: 三叉神経背髄路核より小脳片葉への投射について. 第59回日本生理学会大会, 1982, 4, 横浜.
- 6) 佐藤 悠, 川崎 匡: 小脳片葉入力 of 帯状投射. 第41回日本平衡神経科学会総会, 1982, 9, 山形.

7) 川崎 匡, 佐藤 悠: 三叉神経背髄路核より小脳片葉への投射. 第41回日本平衡神経科学会総会, 1982, 9, 山形.

8) Umeno K. : The manner of elimination of excess nerve termination on slow and fast twitch fibers during polyneuronal innervation. 第38回日本電子顕微鏡学会, 1982, 5, 東京.

生 理 学 (2)

教 授 小 野 武 年
助 教 授 西 野 仁 雄
助 手 佐 々 木 和 男
助 手 福 田 正 治
文 部 技 官 松 山 晴 子

◆ 著 書

- 1) 大村 裕, 小野武年: 大脳辺縁系. 「新生理学 (上巻)」間田直幹他編, 551-583, 医学書院, 1982.
- 2) 西野仁雄: 摂食の神経回路. 「摂食行動のメカニズム」久保田競・森田弘道編, 48-67, 産業図書, 1982.
- 3) 小野武年: 摂食行動と食物の識別. 「脳と認識」伊藤正男編, 213-246, 平凡社, 1982.

◆ 原 著

- 1) 小野武年: 「連合学習における強化の神経機構」について. *心理学評論* **24** : 399-408, 1981.
- 2) Ono T., Nishino H., Fukuda M., Sasaki K., Muramoto K-I. and Oomura Y. : Glucose-responsive neurons in rat ventromedial hypothalamic tissue slices in vitro. *Brain Research* **232** : 494-499, 1982.
- 3) Nishino H., Ono T., Fukuda M. and Sasaki K. : Lateral hypothalamic neuron activity during monkey bar press feeding behavior: modulation by glucose, morphine and naloxone. In: *The Neural Basis of Feeding and Reward* (Eds. Hoebel B. G. and Novin D.), Haer Institute, Brunswick, 1982, pp. 355-372.
- 4) Oomura Y. and Ono T. : Mechanism of inhibition by the amygdala in the lateral hypothalamic area of rats. *Brain Research Bulletin* **8** : 653-666, 1982.
- 5) 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治, 村本健一郎: 自由行動下ラット摂食中枢ニューロン活動と摂食行動. *肥満* **2** : 70-72, 1982.

◆ 総 説

1) 小野武年：脳と行動。現代思想 10：104-119, 1982.

◆ 学会報告

1) 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治, 村本健一郎, 新井田修久：前頭葉一視床下部系と摂食行動との関連。第5回神経科学学術集会, 1982, 1, 横浜。

2) 西野仁雄, 小野武年, 佐々木和男, 福田正治, 村本健一郎, 三崎 究：サルレバー押し摂食行動と淡蒼球ニューロン活動。第5回神経科学学術集会, 1982, 1, 横浜。

3) 粟生修司, 大村 裕, 西野仁雄, 井之口 昭, 水野勇司, 井上真澄：オペラント摂食行動下のアカゲザル前頭眼窩野ニューロン活動と動機づけの影響。第5回神経科学学術集会, 1982, 1, 横浜。

4) 西野仁雄, 小野武年, 福田正治, 佐々木和男, 村本健一郎：レバー押し摂食行動下サル基底核ニューロン活動。第59回日本生理学会大会, 1982, 3, 横浜。

5) 福田正治, 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 村本健一郎：ラット脳切片視床下部ニューロンのブドウ糖応答性。第59回日本生理学会大会, 1982, 3, 横浜。

6) 村本健一郎, 折笠修三, 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治：ラット視床下部ニューロン活動と報酬行動。第59回日本生理学会大会, 1982, 3, 横浜。

7) 佐々木和男, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治, 村本健一郎, Steffens A. B.：自由行動下ラットの脳室内ブドウ糖注入と血糖レベルの変化。第59回日本生理学会大会, 1982, 3, 横浜。

8) 粟生修司, 大村 裕, 西野仁雄, 井上真澄, 井之口 昭, 水野勇司：摂食行動下のサル前頭眼窩野単一ニューロン活動に対するカテコールアミンの影響。第59回日本生理学会大会, 1982, 3, 横浜。

9) 井上真澄, 大村 裕, 西野仁雄, 粟生修司, S. K. シクダール, M. ハイNZ, 片瀬俊彦：サル摂食行動下の前頭野外側部ニューロン活動様式とACh 作動系。第59回日本生理学会大会, 1982, 3, 横浜。

10) 粟生修司, 大村 裕, 西野仁雄, 井上真澄：サル前頭眼窩野ニューロンにおけるアセチルコリンの役割。第29回生理学中部談話会, 1982, 10, 浜松。

11) 佐々木和男, 福田正治, 西条寿夫, 村本健一郎, 中村清実, 西野仁雄, 小野武年：自由行動下ラット摂食中枢ニューロン活動の摂食行動に対する応

答様式。第29回生理学中部談話会, 1982, 10, 浜松。
12) 福田正治, 佐々木和男, 西条寿夫, 村本健一郎, 中村清実, 西野仁雄, 小野武年：摂食行動下サル扁桃体のニューロン活動。第29回生理学中部談話会, 1982, 10, 浜松。

13) 西条寿夫, 福田正治, 佐々木和男, 村本健一郎, 中村清実, 西野仁雄, 小野武年：HRP 法による扁桃体一視床下部投射の研究。第29回生理学中部談話会, 1982, 10, 浜松。

14) 西野仁雄, 大村 裕, 粟生修司：ニューロン活動によるサル前頭野の機能的局在性。第29回生理学中部談話会, 1982, 10, 浜松。

15) 中野保彦, 大村 裕, 西野仁雄, 粟生修司, 南 武嗣, 三崎久好：サル前頭眼窩野のブドウ糖負荷および満腹時のニューロン活動。1982, 10, 浜松。

16) 中村清実, 村本健一郎, 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治：病理学的データの統計的解析。電気4学会北陸支部連合大会, 1982, 10, 金沢。

17) 村本健一郎, 盛 輝樹, 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治：ラットの運動量および行動パターンの解析システムの作製。電気4学会北陸支部連合大会, 1982, 10, 金沢。

18) Oomura Y., Nishino H., Ono T., Aou S., Inoue M., Yamabe K., Sikdar S. K., Hynes M., Katafuchi T., Mizuno Y. and Inokuchi A. : Cholinergic and catecholaminergic mechanism in the monkey orbitofrontal cortex neurons during feeding behavior, 12th Annual Meeting of Society for Neuroscience, 1982, Nov, Minneapolis.

生 化 学 (1)

教 授	岡 本	宏
助 教 授	野 瀬	清
助 手	伊 藤	信 行
助 手	山 本	博
文部技官	恒 田	則 子

◆ 著 書

1) 山本 博, 岡本 宏：細胞系を用いるホルモンの生合成。「内分泌実験講座 3巻 内分泌細胞実験法」鎮目和夫, 對馬敏夫編, 278-297, 講談社サイエンティフィック, 1982.

◆ 原 著

1) Uchigata Y., Yamamoto H., Kawamura A. and Okamoto H. : Protection by Superoxide Dismutase, Catalase, and Poly(ADP-ribose)